

## 2021年8月の自動車用タイヤ・エンジンオイル・バッテリー販売速報

GfK Japan（東京：中野区）は、全国のカー用品店、タイヤ専門店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットの販売実績データを元に市場規模相当に拡大推計した自動車用タイヤ、エンジンオイル、バッテリーの販売速報を公表した。

### ■タイヤ

2021年8月の自動車用タイヤ販売は、本数前年比3%減と低調であった。特に店頭では同6%減と落ち込んだ一方、インターネットでは同1%増とわずかながら前年を上回った。サイズ別の販売動向をみると、最も販売本数の多い155/65/14が、インターネットでの販売急増により本数前年比14%と好調であった。店頭では185/60/15、インターネットでは165/55/15が前年同月から大きく伸長した。タイヤ全体の税抜き平均価格は9,052円と前年同月から3%下落し、店頭、インターネットともに同じ傾向であった。この結果、金額前年比は6%減となり、店頭では8%減、インターネットでは3%減とそれぞれマイナス成長となった。

#### 販売本数前年比



#### 販売金額前年比



#### 税抜き平均価格



### ■エンジンオイル

2021年8月の自動車用エンジンオイル販売は、販売量（リットル換算）ベースで前年比6%減と低調であった。店頭、インターネット別にみると、店頭では7%減であったことに対し、インターネットでは4%増と堅調であった。粘度別に見たときに最も販売量が多いのは0W-20で、構成比では26%を占めた。ただインターネットでは5W-30の販売が最も多く、5W-40が続く結果となった。1リットル当たりの平均価格は前年同月から3%上昇し738円となった。店頭、インターネットともに前年同月から3%上昇した。この結果、金額前年比は4%減となり、店頭では4%減、インターネットでは8%増であった。

販売量 (リットル換算)  
前年比



-6%

販売金額前年比



-4%

税抜き平均価格



+3%

## ■ バッテリー

2021年8月の自動車用バッテリー販売は、数量前年比0.4%増と横ばいであった。ただ店頭、インターネット別にみると、店頭では6%減と低調であった一方、インターネットでは17%増と好調であった。バッテリーではアイドリングストップ車向け製品の販売が好調で、数量前年比20%増に達し、店頭、インターネットともに2桁成長を遂げた。バッテリー全体の平均価格は12,345円と前年同月から横ばいであったが、店頭販売では4%上昇、インターネット販売では2%下落と対照的であった。この結果、金額前年比は1%増となり、店頭販売では2%減、インターネット販売では14%増であった。

販売数量前年比



+0%

販売金額前年比



+1%

税抜き平均価格



+0%

- タイヤはカー用品店、タイヤ専門店（メーカー系列を除く）、ガソリンスタンド、インターネットを集計対象としております。
- エンジンオイル及びバッテリーはカー用品店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットを集計対象としております。

本リリースに関するお問い合わせ先

GfK Japan  
マーケティングコミュニケーション  
Email : [info.jp@gfk.com](mailto:info.jp@gfk.com)  
[www.gfk.com/jp/](http://www.gfk.com/jp/)